

体験型ロボットショールーム「Kawasaki Robostage」

An Experience-based Robot Showroom, Kawasaki Robostage



東京・臨海副都心エリアのお台場に体験型ロボットショールーム「Kawasaki Robostage（カワサキロボステージ）」を2016年8月6日にオープンした。人共存型双腕スカラロボット「duAro」をはじめ、川崎重工のロボット製品を間近に見ることができる空間として、顧客だけでなく一般にも公開することで、当社ロボットの可能性を訴求している。

まえがき

当社はこれまで、国内外の営業・サービス拠点におけるデモ設備や、2014年10月に西神戸工場内に開設した国内最大規模のショールームを通じて、ロボットの導入を具体的に検討している顧客に提案してきた。

1 設立の背景

政府が「日本再興戦略」改訂2014において定めたロボット新戦略により、今後ロボットの活用と普及がさまざまな分野に広がりを見せていくと見込まれている。また、東京・お台場を日本の先進技術を世界に発信するためのショーケース化する構想があり、すでにトヨタ自動車やパナソニックが同エリアに一般向け施設を展開している。そこでは、自動運転車両走行や多言語翻訳ロボットをはじめとするロボット実証実験に向けた整備も政府主導で進んでいる。

こうした背景に加え、2020年東京オリンピック・パラリンピックやロボット国際競技大会（World Robot Summit）の開催も予定されている。このように世界中から注目が集まる東京・臨海副都心エリアにいち早く拠点を設けることで、当社のブランド価値向上を図ることとした。

2 コンセプト

「Kawasaki Robostage（カワサキロボステージ）」は、そのメインコンセプトとして「人とロボットの共存・協調の実現」を掲げている。来るロボット社会へ向けた人とロボットの新しい関係を予感させる場所として、展示を通じて当社のロボットの可能性を訴求するショールームとする。

3 「Kawasaki Robostage」の概要

「Kawasaki Robostage」はFCGビル（フジテレビ本社ビル）横に位置する高層ビル「トレードピアお台場」1階に位置している。グリーンを基調とした約132㎡のフロアの各壁面にスクリーンを配置しており、当社を紹介する映像などを映している。

館内では、人共存型双腕スカラロボット「duAro」や、溶接用ロボット「BX165N」、医療・医薬分野向けロボット「MS005N」および「MC004N」を展示している。これらロボットによるデモンストレーションやプログラム体験を通じて来館者に当社の産業用ロボットを知っていただくとともに、これから到来するロボット社会へ向けた知識を深めていただけるようにしている（図1）。

このように「Kawasaki Robostage」は、B to Bだけでなく広く一般の方々にもロボットへの理解を深めていただく空間を提供している。



図1 「Kawasaki Robostage」内観
Fig. 1 Inside view of the facility

4 展示内容

(1) 人共存型双腕スカラロボット「duAro」

「人と共存して作業するロボット」のコンセプトを持つ「duAro」を複数台展示しており、デモンストレーションやプログラミング体験などを提供している。

(i) デモンストレーション

基盤の組み立てや、ビジョンセンサと吸着ハンドを用いて寿司を握るなど、「duAro」の幅広い適用可能性をデモンストレーションしている。

(ii) プログラミング体験

タブレット端末を用いたダイレクトティーチング（人の手で直接ロボットのハンドを動かして行うロボット動作指示方法）を通じて、「duAro」が簡単に操作できることを体験できるようにしている。

(iii) 似顔絵コーナー

撮影した顔写真から輪郭線を抽出して似顔絵を描画する（図2）。完成した似顔絵はその場で来館者に手渡している。

(2) 溶接用ロボット「BX165N」

自動車ボディなどの溶接工程において高いシェアを誇る大型汎用ロボット「Bシリーズ」を展示している。車体溶接ラインの映像を映した大型モニターの両サイドに配置された2台の「BX165N」が、映像に合わせて自動車ボディ溶接のデモンストレーションを行っている。

(3) 医療・医薬分野向けロボット「MS005N」/「MC004N」

世界中で需要拡大が見込まれ注目を集める医療・医薬分野向けロボットとして、「MS005N」と「MC004N」を展示している。合計3台のロボットが協調しながら、ピーカーから試験管への分注作業のデモンストレーションを行っている（図3）。

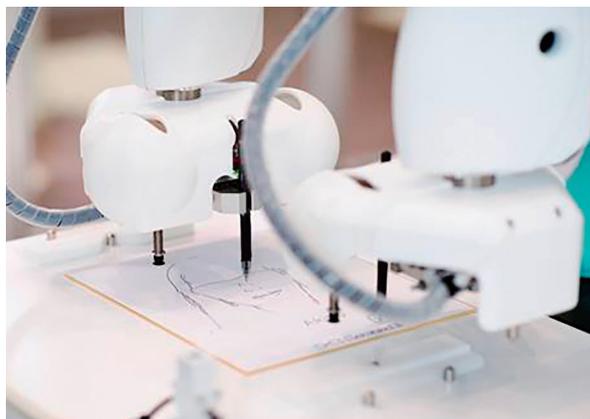


図2 似顔絵の描写の様子
Fig.2 Portrait drawing by duAro

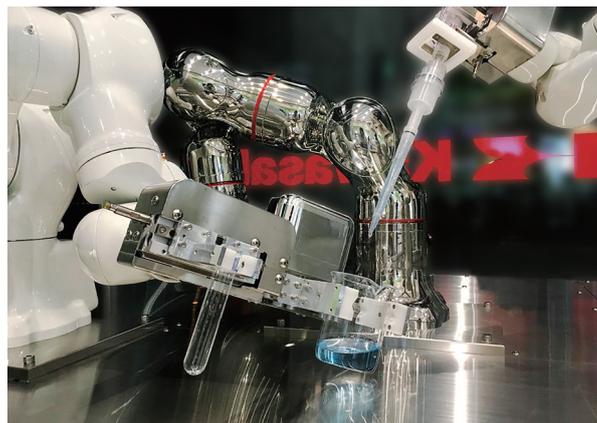


図3 分注作業デモンストレーション
Fig.3 Demonstration of drug dispensing

あ と が き

開館後、顧客だけでなく学生、官公庁、そして一般層に対してロボット技術の紹介やロボット製品以外のプレス発表など、当社のブランド訴求に貢献している。さらに本格化するロボット社会へ向けた情報発信基地として、より魅力的なショールームにしていく。

また、世界の工場とつながることでIoT（Internet of Things）の研究および実証ができる場所となることを目指して展示活動を行っていく。

〔文責 精密機械カンパニー ロボットビジネスセンター
営業企画部 真田 知典〕

〔問い合わせ先〕

精密機械カンパニー ロボットビジネスセンター
営業総括部 営業企画部
Tel. (03) 3435-2501, Fax. (03) 3437-9880

〔Kawasaki Robostage 営業情報〕

東京都港区台場 2-3-1 トレードピアお台場 1 階
営業時間
火・水・金：13:00～18:00
土・日・祝：10:00～18:00
休館日：月・木（祝日の場合は営業）
Tel. (03) 6457-2800
入場料：無料 ※展示内容は随時更新予定